

長編童話 朗読

南へ 飛んだポー

キジバトと少女と老人の“今だから伝えたい”物語

キジバトの“ポー”が旅立った。
あづみ野から沖縄の波照間島へ…。

2025年

8/23 (土)

開場 13:00

開演 13:30

安曇野市三郷
三郷公民館 講堂

主催 安曇野市 三郷公民館
出演 ハテルマシキナ朗読会
お問い合わせ先
三郷公民館 ☎0263-77-2109

※定員 150名 (当日受付)

入
場
料

無料

沖縄の人は亡くなるとニライカナイの国に行くそうですが、どの方向ですか
信じれば海の向こうは全部ニライカナイだよ…

「南へ飛んだポー」本文より

(朗読) 南へ飛んだポー

あらすじ

風光明媚な安曇野のパン屋さん「スィートローズ」。そこにお父さんと暮らす真央ちゃんと、たまたま通りかかった旅のさすらい人の源じいさんは、道端で一羽のキジバトを助けた。二人はキジバトをポーと名付けた。元氣になったポーは、源じいさんの故郷、沖縄県波照間島へ旅立った。沖縄でポーが出会ったリウキウウキジバトのピーズは「なんで人間は戦争で殺し合いをするんかね、意味わからんさ」と言う。ポーはなぜ沖縄へ旅立ったのか？ポーが平和と絆を結ぶ物語。

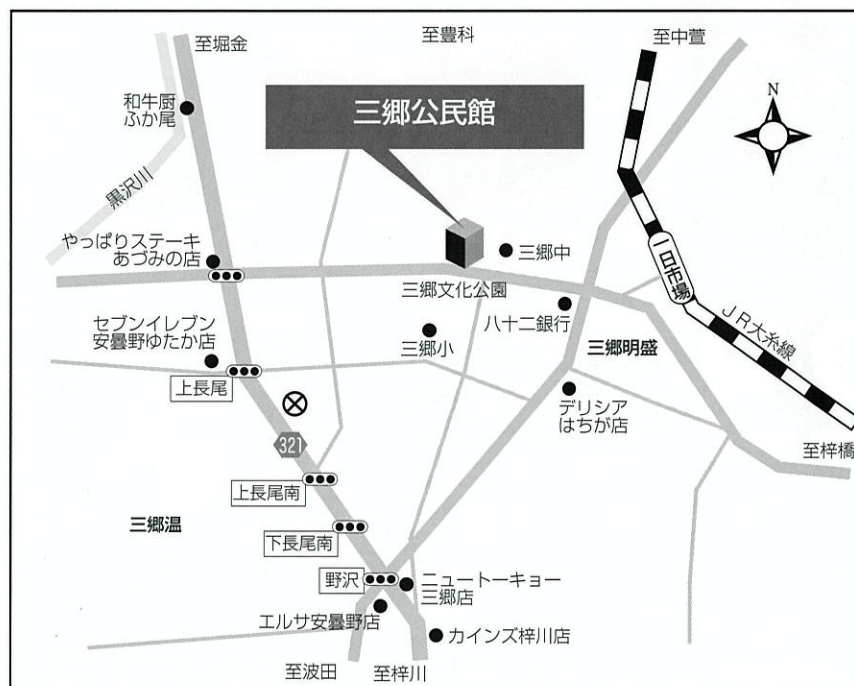
ポーが源じいさんから聞いた

「戦争マラリア」、実際に起きた沖縄の悲劇

沖縄県八重山諸島の波照間島で実際に起きた悲劇。終戦近い昭和20年、日本軍の特命を受けた兵士が八重山諸島の各地にやってくる。始めは若い教師を装っていたが、彼らはやがて命令者へ豹変し、全島民をマラリアの罹患地帯（西表島）へ強制疎開させる。自由もなく食料も不十分、衛生状態も最悪のなか、マラリアに苦しみ島民の3人に1人が亡くなった。もう一つの沖縄戦「戦争マラリア」と言われている。

安曇野市三郷公民館

〒三九九一八〇一 安曇野市三郷明盛四八一〇番地一



もう一度聴きたいという声や、聴けなかった方からは再上演の時は聴きたいという声もありました。8月の上演にお出掛けください。

電話 〇九〇一七六三四一〇七〇五(事務局)
〇九〇一四三六六一七一八二(高橋)



長編童話……南へ飛んだポー

(高橋喜和 著)

演出……高橋 幸江

朗読……ハテルシキナ朗読会

音楽……及川 帰秋

……小林 和彦

……山本 隆也

映像……降旗 厚揮